

第3次和歌山県がん対策推進計画の概要

策定趣旨
 期間
 基本理念
 ポイント
 現状

「がん対策基本法」第12条第1項の規定に基づき、各都道府県のがんの実情に合わせたがん対策の推進を図る。

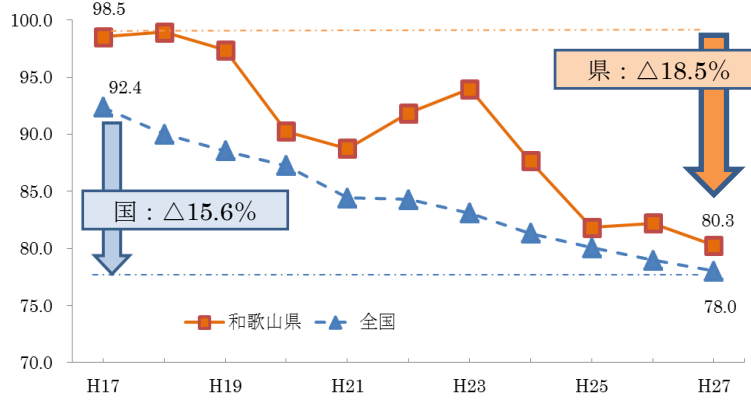
2018(平成30)年度 から 2023(平成35)年度(6年間)

県民が、がんに関する正しい知識を持ち、避けられるがんを防ぐことや、がん患者が安心かつ納得できるがん医療や支援を受け、がんと向き合いながら社会生活を続けていくことで、がん患者を含めた県民が、いきいきと生活することができる地域社会を実現する

- ・計画期間を5年から6年に変更
- ・がん75歳未満年齢調整死亡率の更なる低下 … 国の死亡率を下回る
- ・がん予防の強化 … がん検診受診率向上及び質の強化
- ・がんとの共生 … 相談支援体制やライフステージに応じたがん対策

75歳未満年齢調整死亡率の推移

減少率は、国全体より大きい(全国で7番目の減少率)が、死亡率は高い(H17:5位→H27:11位)

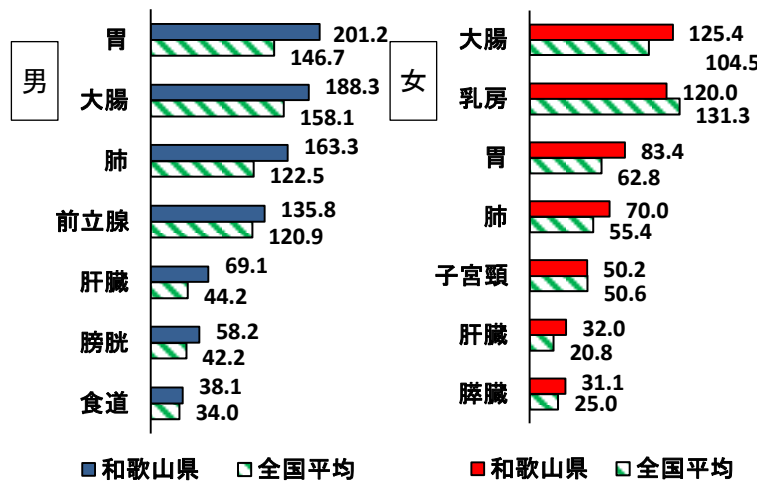


減少に影響したがん種

	男女計	男性	女性
1位	肝	肝	胃
2位	胃	胃	大腸
3位	肺	肺	肝

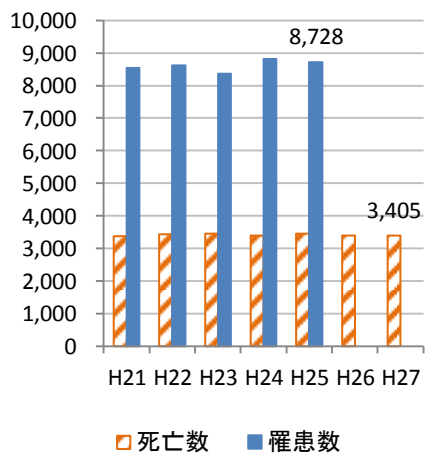
本県に多いがん (平成25年 粗罹患率)

男女ともに消化器系のがんや肺がんが、全国より多い



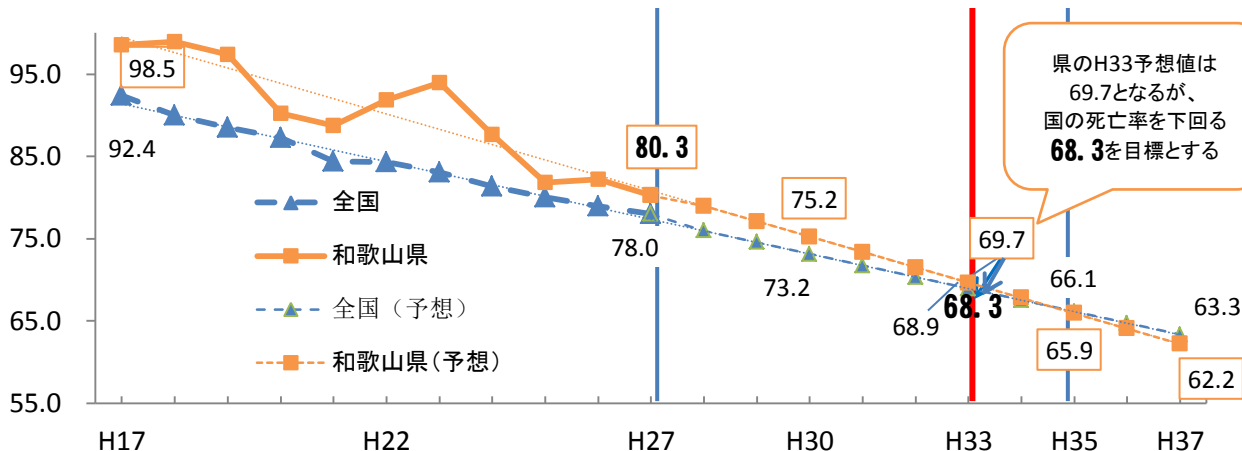
罹患数と死亡数

年間約9千人ががんに罹り、約35百人ががんで亡くなっている



がんの75歳未満年齢調整死亡率の低下
2015(H27) 80.3 → 2021(H33) 68.3〔対H27年比 15%減少〕

※ 国の死亡率を下回る



科学的根拠に基づくがん予防・がん検診の充実 ～がんを知り、がんを予防する～

患者本位のがん医療の実現 ～適切な医療を受けられる体制を充実させる～

尊厳を持って安心して暮らせる社会の構築
～がんになっても自分らしく生きることのできる地域共生社会を実現する～

目標

個別分野

項目	施策の方向性	主な数値目標
科学的根拠に基づくがん予防、がん検診の充実	<p>[1次予防]</p> <ul style="list-style-type: none"> ● 生活習慣改善を促進 (運動、食、飲酒、たばこ等) ● 感染に起因するがん対策の推進 <p>[2次予防]</p> <ul style="list-style-type: none"> ● 職域を含めたがん検診受診率向上 ● がん検診の質向上 	<ul style="list-style-type: none"> ・運動習慣者増加 19.4% → 34% (男: 20～64歳) ・野菜の摂取量の増加 257.7g → 350g ・喫煙率低下 27.9% → 18.9% (男) ・がん検診受診率 44.2% → 70% (例: 肺) ・精密検査受診率 55.8% → 90% (例: 大腸)
患者本位のがん医療の実現	<ul style="list-style-type: none"> ● がん治療法の充実(ゲノム医療等) ● チーム医療や医療連携の推進 ● それぞれのがんや世代に応じた対策 (小児、AYA世代など) ● がん登録の活用 ● 人材育成 	<ul style="list-style-type: none"> ・人生の最終段階における医療について家族と話し合ったことがある者の割合 42.7% → 70.0% ・チーム医療体制整備病院数 (がん診療連携拠点病院等) 9 → 9 ・肝がん対策として、肝炎ウイルス検査受検者数 7,247人 → 8,000人
尊厳を持って安心して暮らせる社会の構築	<ul style="list-style-type: none"> ● 緩和ケアの推進 ● 相談支援及び情報提供の強化 ● 就労を含めた社会的な問題 ● ライフステージに応じたがん対策 ● がん教育、知識の普及啓発 	<ul style="list-style-type: none"> ・緩和ケア研修会修了者数 (医療従事者) 1,832人 → 3,000人 ・緩和ケア理解度 36.0% → 50.0% ・がん相談支援センター認知度 64.8% → 100%